

平成20年12月3日

## 低品位炭改質技術( U B C )の大規模実証事業が、いよいよ本格稼働！

～日本とインドネシアが協力して、低品位の石炭を改良するプロジェクト～

低品位炭改質技術( UBC : Upgraded Brown Coal ) プロジェクトの竣工式が、2008年12月4日にインドネシア南カリマンタン州のサツイ鉱区において開催されます。本プロジェクトは、日インドネシアの二国が協力して低品位炭改質技術の実証・開発を行う大規模実証事業です。

1 .本プロジェクトは、高水分のため3500～5000kcal/kgの低熱量である低品位な石炭を油中で脱水することにより、6500kcal/kg以上の高熱量に改質する低品位炭改質技術の開発及び実証を行うための大規模実証事業です。

2 .石炭は他の化石燃料に比べ、可採年数や供給安定性、経済性の面で優れていることなどから、重要なエネルギー源です。しかしながら、世界の石炭資源の約半分は低品位炭で、その多くは資源として利用されていません。

3 .明日竣工式を迎える本プロジェクトは、低品位炭を脱水、改質することによって利用可能な資源とする技術を開発するものであり、石炭資源の有効利用に向けた実証事業として大きな期待が寄せられています。

4 .今後は、商業化に向けて運転データの解析や実機ボイラーによる製品評価試験等を実施する予定です。経済産業省は、今後とも本プロジェクトを積極的に支援してまいります。

(本発表資料に関するお問い合わせ先)

資源エネルギー庁資源・燃料部石炭課長 國友 宏俊

担当者：金澤、井上

電話：03-3501-1511(内線4681～4)

03-3501-1727(直通)

## 低品位炭改質技術（U B C）プロジェクト竣工式 概要

1．日時：2008年12月4日（木）11:00～13:30

2．場所：インドネシア 南カリマンタン州 サツイ鉱区

3．日尼政府関係出席者

【インドネシア政府】 エネルギー鉱物資源大臣  
エネルギー鉱物資源省研究開発庁長官  
石油・ガス総局長  
鉱物石炭技術研究開発センター所長

【日本政府】 経済産業省資源エネルギー庁長官官房企画官（石炭政策担当）

4．竣工式プログラム

11:00～ 12:20	主賓挨拶 ・スピーチ1 インドネシア共和国エネルギー鉱物資源省研究開発庁長官 ・スピーチ2 （株）神戸製鋼所代表取締役社長 ・スピーチ3 （財）石炭エネルギーセンター理事長 ・スピーチ4 日本国経済産業省資源エネルギー庁長官 代読：資源エネルギー庁長官官房企画官（石炭政策担当） ・スピーチ5 インドネシア共和国南カリマンタン州知事 ・スピーチ6 駐インドネシア日本国大使 ・スピーチ7 インドネシア共和国エネルギー鉱物資源大臣
12:20～ 13:30	祝詞、関係者との歓談等

5．低品位炭改質技術（U B C）プロジェクトの概要（別添）

# 低品位炭改質技術開発(UBC: Upgraded Brown Coal) プロジェクトの概要

## 1. 目的

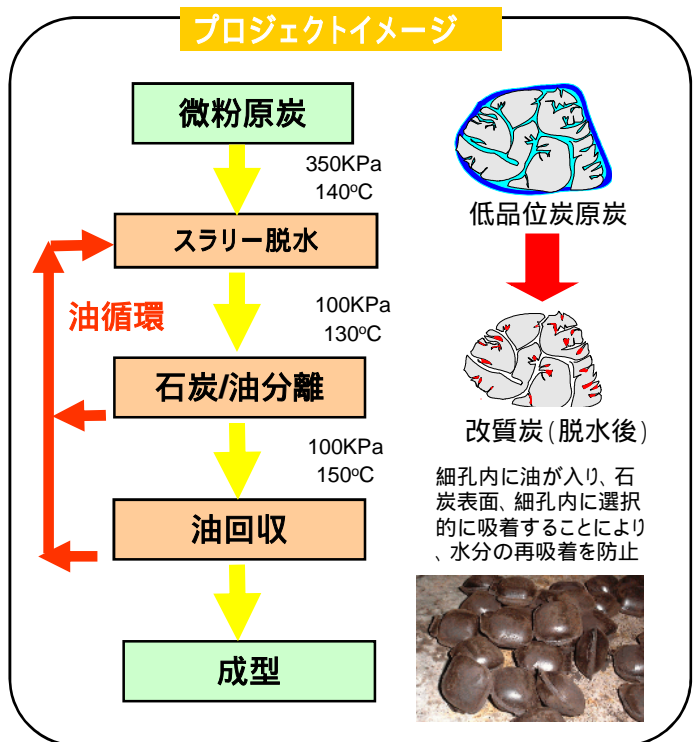
世界的に石炭需要が拡大する中、世界に多く賦存しているにもかかわらず、その多くが利用されていない低品位炭について、改質を行って高品位化することにより、高効率でより環境調和的で利用可能なエネルギーとする技術を開発する。

## 2. 事業効果

- 未利用資源の有効活用
- 日本の低品位炭利用の促進、供給炭種の多様化、石炭安定供給への貢献
- 灰分の少ない低品位炭の長所をそのまま生かすことにより、燃焼時の石炭灰発生量を抑制(石炭灰処理問題の軽減)
- 脱水・後発熱量化によるCO<sub>2</sub>削減

## 3. 事業の概要

- 事業期間:平成18～21年度(4年間)
- 総事業費:約76億円  
(補助率1/2、国の補助約38億円)
- 事業主体:財団法人石炭エネルギーセンター
- 実施場所:インドネシア共和国



## 4. スケジュール

年度	18	19	20	21
1. 計画・設計	■			
2. 製作・建設		■		
3. 試運転・実証運転			■	
4. 製品評価・F/S等				■
事業費総額(億円)	20	19	17	20(予定)

## 5. インドネシアとの状況

- ・2006年11月の甘利経済産業大臣とプルノモ・エネルギー鉱物資源大臣間における共同声明にて両国が低品位炭改質技術の開発に取り組むことで合意。
- ・2007年8月の日尼EPA締結時の共同声明にて低品位炭改質技術の開発に協力することで合意。